

令和 6 年度

「運営に関する計画」

大阪市立城東小学校

令和 6 年 4 月

大阪市内 城東小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

新しい大阪市教育振興基本計画の2年目は、校内アンケートで、肯定的に回答する保護者が昨年度よりも増加した。これは、児童が主体となる半日運動会改め城東スポーツフェスティバルや一人一台PCの積極的な活用、教科担任制や学年内教科入替制、標準服の自由選択制などにおける本校独自の取組や情報発信などが評価され、学校の思いや考えが理解された結果と考える。また、経年調査から、児童の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」が昨年度以上に向上し、不登校児童の在籍比率は0.80%、不登校児童の改善率は66%といずれも改善された。また、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っていますか」についても昨年度より向上している。一方で、3～6年の教科の標準化得点が平均に届いていないという課題がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度より10%増加させる。

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率35%以下の児童の割合を令和3年度より10ポイント減少させる。

○令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を50%以上にする。

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和3年度より3ポイント向上させる。

○特に課題であるソフトボール投げの記録を令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、令和3年度より5ポイント増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、20%以上にする。

○ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

○令和7年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を、各学年で令和5年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を各学年で令和5年度より向上させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- 学習者用端末を活用した家庭学習を週2回以上実施する。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（基準2）を満たす教員の割合を100%にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市長 城東小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小・学校) ○小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。 ○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 学校の年度目標 ○小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を、各学年で令和5年度より向上させる。 ○小学校学力経年調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を各学年で令和5年度より向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 「学校安心ルール」の徹底を図り、適切な個別指導や対応を行い、いじめ・問題行動に組織的に適切に対応する。不登校や児童虐待に関する状況を適切に把握し、首席を窓口として組織的に対応する。 指標 首席を中心として、「いじめ・不登校・虐待」に対して個別指導ができる環境を整える。(スクリーニングシート・月1回の対策会議・SCとの月2回の情報共有)	
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 児童の自己肯定感・自己有用感の向上を図るため、教職員の人権研修会の実施。 指標 人権教育部を中心として、自己肯定感・自己有用感の向上を図るための取り組みを年間通して実施し、小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を、各学年で令和5年度より向上させる。5	
取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】 キャリア教育の体系的・系統的な推進を図る。(キャリアパスポートの適切な活用) 指標 キャリアパスポートを効果的に活用し、小学校学力経年調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して肯定的に答える児童の割合を、各学年で令和5年度より向上させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市長 城東小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ○小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を 40%以上にする。 ○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」の推進を図る。学力向上支援チームの訪問による指導・支援により個別最適な学びによる自ら学習を調整できる能力の育成と協働的な学びによる集団で学ぶことの良さを実感させる。(自主学習(「けテぶれ」学習)の推進) 指標 小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を 40%以上にする。小学校学力経年調査の「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習していますか」に対して、肯定的な回答をする割合を各学年で令和 5 年度より向上させる。	
取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 外国語指導における習熟度別学習の積極的な導入、オールイングリッシュの授業の実施により児童の表現力の向上を図る。そのために、英語指導における教員の指導力・英語力の向上に向けた研修を実施する。 指標 小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 令和 5 年度全国体力・運動能力調査において課題となった柔軟性（長座体前屈）持久力（シャトルラン）の育成を図る（年間を通した取り組みを実施）児童の体力・運動能力向上にむけた研修会の実施。 指標 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市長 城東小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小学校) 【ICTの活用に関する目標を設定する】 ○学習者用端末を活用した家庭学習を週 2 回以上実施する。 【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】 ○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 (基準 2) を満たす教員の割合を 100%にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6、ICT を活用した教育の推進】 一人 1 台端末の効果的な活用を図る。 ・教員の活用スキルの向上 (仕事の効率化) ・児童の活用スキルの向上 (ソフトの活用能力・多様性に対応) <hr/> 指標 学習者用端末を活用した家庭学習を週 2 回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向 6、ICT を活用した教育の推進】 授業にデジタル教材を活用した自学学習を組みこむことにより習慣化を図る <hr/> 指標 小学校学力経年調査における「デジタルドリルを使った学習は楽しいですか」 に対して肯定的な回答の割合を全学年で令和 5 年度より向上させる。	
取組内容③【基本的な方向 6、働き方改革の推進】 学校行事の精選、会議の削減、ゆとりの日の設定、長期休業期間における学校閉庁 日の設定により教員の長時間勤務の解消を図る。 <hr/> 指標 「学校における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基 準 1 (基準 2) を満たす教員の割合を 100%にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点